

## ドングリの結実は昨年より良好

秋のツキノワグマ(以下、クマという)の出没を予測する等の基礎データを得るため、毎年、生息地域におけるブナ科種子の結実状況をモニタリングしています。

本年も、8月から9月前半にかけて、ブナ3箇所、イヌブナ1箇所、ミズナラ9箇所、コナラ10箇所、クリ6箇所の計29箇所について、目視により調査し、豊凶を判定しました。

その結果、イヌブナの「凶作」を除けば、すべて「並作」でしたので、府全体では「並作」と判断しました。

なお、ドングリの結実は「並作」ですが、今後、冬眠前のクマが餌を求めて人里へ出没する機会が増加しますので、十分な注意が必要です。

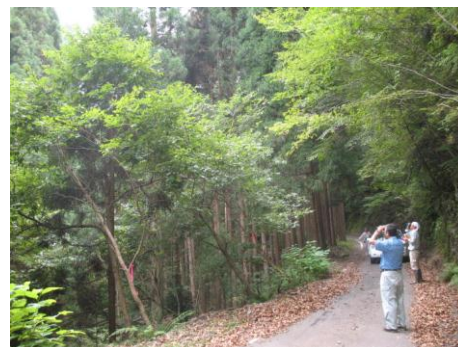
ブナ科種子の豊凶状況（京都府）

樹 種	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
ブナ	(凶)	(凶)	並	凶	並	凶	並	凶	並
イヌブナ	(凶)	(凶)	凶	凶	豊	凶	凶	凶	凶
ミズナラ	(凶)	(凶)	並	凶	凶	凶	凶	凶	並
コナラ	並	並	並	凶	凶	並	凶	凶	並
クリ	並	並	並	凶	並	凶	並	並	並
府全体			並	凶	並	凶	凶	凶	並

( ) はシートトラップ法による、それ以外は目視調査



落下する種子を捕集するシートトラップ



双眼鏡を使った目視調査